

大阪は‘まち’がほんまにおもしろい

偉大なる大陸文化の伝承地・四天王寺

～ベルリンの壁から大阪関帝廟まで～

かつては上町台地の西側まで海(大阪湾)が迫り、そこは難波津と呼ばれる国際港でした。四天王寺は、大陸文化に影響されて、西暦593年に聖徳太子が建立した「日本仏法最初の大寺」ですが、四天王寺界隈には、こうした大陸文化の影響を受けた名所・旧跡がいくつも残されています。統国寺のベルリンの壁から、大阪関帝廟まで。国際港・難波津の歴史と文化を辿っていきます。



① 竹本義太夫生誕の地

竹本義太夫は慶安4年(1651)、天王寺村の百姓家の出身ですが、歌の才能を見出されて京都の名人・宇治加賀椽(かかのじょう)に預けられ、浄瑠璃節のみならず、昔の謡曲など色々な歌唱の長所をとって、独特の音節「義太夫節」を産み出しました。これが大人気を博得、道頓堀に竹本座を開座。近松門左衛門を座付き作家として迎えて、浄瑠璃人形芝居を始めると隆盛を極め、元禄11年(1698)には、朝廷に召されて義太夫節を披露し、「筑後様」の号と、「藤原博教」の名を賜りました。以後、義太夫は上方芸能界の牛耳を執って大権威となりますが、晩年は竹本座を竹田出雲に譲って隠退しました。正徳4年(1714)、64歳で亡くなっています。

② 統国寺(ベルリンの壁)

聖徳太子の創建と伝えられています。百済の僧・観勒(かんろく)が開山住持として招かれ、百済古念仏寺と名づけられ、推古天皇の帰依により厚い保護を受けました。宝永6年(1709)に、黄檗宗に属して寺名を「和氣山 邦福寺」と改め、大勢の雲水(修行僧)の修行の場となりました。昭和44年(1969)に在日本朝鮮仏教徒協会の傘に入り、「統国寺」と改名されます。南北に分断された朝鮮民族の国家統一への願いがこめられて、信者から奉納されたベルリンの壁の一部が置かれてあります。

③ 阪口楼

普茶料理を出す老舗料亭で、明治10年(1877)に南地大和家の分家として創業しました。普茶料理とは、江戸初期に明の衰亡によって数多くの中国僧が日本に流れてきて、禅宗・黄檗宗が伝来し、そのさいに伝わった「素菜」(中国式の精進料理)が原型です。「普(あまね)く茶を施す」という意味で、仏事の終了後に僧侶や檀家が茶を飲みながら話し合う食事でした。葛と植物油を多く使った濃厚な味で、代表的な普茶料理に精進うなぎや胡麻豆腐があります。

④ 堀越神社(熊野信仰)

聖徳太子が四天王寺を建立したさいに、叔父の崇峻天皇の遺徳を偲んで創建されました。古くより明治中期まで境内南治いに美しい堀があり、この堀を越えて参詣したので、堀越という名が付けられたといわれています。また平安時代に「蟻の熊野詣」といわれるほど賑わった熊野詣は、京都から船で淀川を下って、渡辺津(現在の天満辺り)にあった九十九王子の第一王子「窪津王子」を詣でましたが、その窪津王子はのちに四天王寺の正門鳥居近くの「熊野神社」に鎮座され、さらに後に堀越神社に合祀されて「熊野第一王子之宮」として現在に至っています。ちなみに熊野権現の神使は三本足の烏・八咫烏(ヤタガラス)で、日本サッカー協会のシンボルマークでもお馴染みです。

⑥ 清水井戸地蔵尊(四天王寺の名水)

天明9年(1789)の「摂州大坂地図」に本清水としてこの井戸の所在が示され「摂津名所図会」には「谷の清水、庚申堂の南一丁ばかりあり。清泉にして甘味あり、四天王寺名水のその一つなり」と記述されています。清水地蔵尊はいつごろつくられたか不明ですが、明治32年(1899)と明治43年(1910)の清水改築記念碑が建っています。

⑦ 超願寺(竹本義太夫墓所)

創建は推古天皇22年(614)で、聖徳太子が、蘇我馬子の末子・慧観を住まわしめたと伝えられています。ここは竹本義太夫の墓所があることで有名です。

⑧ 四天王寺南門(四天王寺伽藍)

四天王寺は、聖徳太子が建立した日本最古の官寺で、南大門の前には「日本佛法最初四天王寺」と彫りこんだ石柱がたっています。その伽藍配置は「四天王寺式伽藍配置」といわれ、南から北へ向かって中門、五重塔、金堂、講堂を一直線に並べ、それを回廊が囲む形式で、日本では最も古い建築様式のひとつです。その源流は中国や朝鮮半島に見られ、6～7世紀の大陸の様式を今日に伝える貴重な存在とされています。

⑨ 久保神社(四天王寺七宮)

聖徳太子が四天王寺を造った際に、その守護として造営した四天王寺七宮(大江・上之宮・小儀・土塔・河堀・堀越・久保の7社)のひとつとされています。昭和20年(1945)3月の空襲で鎌倉時代様式の雄大な社を焼失しました。久保神社の久保の地名は窪地の意味で、茶臼山から続く低地であることからきています。境内にある「願成就宮」は、聖徳太子が宮を厚く崇敬して、四天王寺建立をはじめ諸事御願が遂げられたので、太子から「願成就宮」とあると讃えられたことに由来するといえます。また、当社は浪速神楽の家元としても知られています。

⑩ 清寿院(大阪関帝廟)

正式には黄檗宗「白駒山 清寿院」といいますが、中国との縁が深いので「南京寺」とも称されます。「桃園の誓い」で劉備、張飛と義兄弟となった義勇の英雄・関羽を祀っています。明和元年(1764)に、浄土宗住職・宗円より黄檗僧・大和尚が譲り受けて、中国僧・大成和尚が中興開山して、本堂を再建して黄檗宗の寺となりました。明治18年(1885)、長崎から来阪した広東の貿易商・利興成、利安泰が発起人となり、日本人取引業者を含めた篤志家と共に本堂・拝所・表門等を中国風に改築し、本堂祭壇中央に關聖帝君、左側に天上(后)聖母、右側に財神爺(金儲けの神)を安置しました。拝殿の仏像は華商が寄進したもので、築240年の土蔵造りの貴重な建物です。大成和尚が中国より請来した関帝像も内殿にお祀りしてあります。横浜中華街の関帝廟は明治6年(1873)、神戸関帝廟は明治21年(1888)創建ですので、それよりも古く、日本でも有数の由緒正しい関帝廟です。

⑪ 四天王寺東門

かつて河内・大和からの四天王寺の参拝客を出迎え、伊勢神宮へ出発する巡礼者を見送った四天王寺の東大門です。元和9年(1623)に建てられた旧・東大門は国宝指定されていましたが、惜しくも戦災で焼失しました。現在のものは戦後の再建です。東大門から境内に入って、すぐに「伊勢神宮遙拝石」があります。元々は東門外(門の階段のすぐ下)にあったものを、明治年間に移したもので、影向石(ようごういし)とも呼ばれています。

【注意事項】 この地図は「大阪あそ歩」のまち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。

【お問い合わせ】 大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局 電話06-6282-5930(財団法人大阪観光コンベンション協会内)「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。 <http://www.osaka-asobo.jp> または **大阪あそ歩** でネット検索を。

大阪あそ歩のコースは約2～3km、2～3時間程度を基準として作成されています。